

〔43年度市政の重点方針〕

- 1 交通安全対策と整備
- 2 社会環境施設の整備
- 3 産業の振興
- 4 建設事業の積極的推進
- 5 教育の振興
- 6 財産造成事業の推進

豊かな市民生活をめざして

新しい年に新しい仕事を

・大館市3月定例市議会は、さる3月12日に開かれ、43年度一般会計予算など、60議案を審議し、3月26日全議案を原案どおり可決して15日間にわたる日程を終えました。

・予算関係についてお伝えしますと、一般会計では16億5,640万1千円となり、特別会計、企業会計を含めると総額30億1,484万3千円という規模になります。

・今号では、一般会計を中心に、43年度は市民の福祉向上に向けてどんな仕事をするか、についてその施策の概要をお伝えし、市民の皆さんのご理解と協力を得たいと思います。

43年度一般会計予算

才入			才出		
款	本年度予算額	前年度との比較	款	本年度予算額	前年度との比較
1.市税	649,553	241,800	1.議会費	61,772	28,549
2.地方交付税	319,940	66,827	2.総務費	240,933	66,586
3.分担金及び負担金	8,107	1,675	3.民生費	276,035	107,464
4.使用料及び手数料	30,594	9,115	4.衛生費	140,199	41,095
5.国庫支出金	332,499	179,357	5.労働費	22,443	6,098
6.県支出金	103,150	88,997	6.農林水産業費	121,540	89,279
7.財産収入	53,345	41,763	7.商工費	42,874	▲8,748
8.寄附金	8,168	3,167	8.全不費	234,752	182,200
9.繰入金	20,495	11,602	9.消防費	56,384	12,351
10.繰越金	1	0	10.教育費	263,358	91,531
11.諸収入	39,439	▲14,014	11.災害復旧費	15,096	6,922
12.市債	97,200	28,700	12.公債費	138,913	28,528
才入合計	1,656,401	658,989	13.助成費	37,606	5,642
			14.予備費	4,496	1,492
			才出合計	1,656,401	658,989



市長 石川 芳 男

四十三年度の財政事情

43年度は、黒鉱開発に伴って鉱産税の増収が予想され、見とおしとしては明るいものがあります。

- 究制の改正による住民税の減収。
- 国庫支出金については、10%の増加にとどまる見込みであること。
- 国家財政の引きしめによる影響。

などが予想されるため、財源の確保については、決して予断をゆるさねない状況にあります。

したがって本年度においては、消費的経費とくに、物件費について極力節減をはかり、建設事業等の投資的経費の増加に重点をおき、近代都市建設に一步一步近づいていきたいと思います。

今年はこのことをします

建設

本年度は、建設事業を積極的に推進します。

農業近代化の推進も、林業構造改善もその第1着手は道路の整備にかかっているため、とくに市道の整備を重点的にとりあげております。

舗装関係では、片町線、釈迦内線、労災病院線、アセ石線に2,691万5千円、側溝改良工事に1,200万円など、道路新設改良費として総額6,233万5千円を投じます。

橋の関係では、沼館橋、高館橋、曲田橋、旭沢2号橋などの補修、架替などに595万5千円を投じ、早期完成をめざします。

都市計画関係では、大館駅東大館駅線の街路工事(延長726m、幅22m)を900万円。同線の橋梁工事(上部工、橋台一基)に6,000万8千円を計上し、交通の緩和をはかることにしました。

一方、住宅関係では、住宅不足にんがみ、本年度は第1種住宅12戸、第2種住宅28戸、第2種の2階建6戸を4,700万円を投じ、住宅不足に対処することになりました。

交通

今年度は激増している交通事故に対して、真げんに取り組みます。

まず、一面であげた全市民の相互扶助による交通災害共済を積極的に推進しながら、交通道徳の意識向上につとめます。

また、事故防止の一かんとして、大町に67万5千円を投じてガードレールを新設するほか、事故防止を市民に呼びかけるための告知板を作成し、交通安全の対策に万全を期すことになりました。

消防

いぜんとして減少しない火災の発生に対処するため、今年度は御成町方面に415万円を投じて火災報知機、33基を新設します。

防火貯水そうの新設は川口、葛原大森に、消防器具設置場の新設は、板沢、水沢、そして、ホース乾燥塔の新設は餅田、松木、本郷等に新設を計画しているほか、消防用の超短波無線機を購入するなどして、消防力の充実をはかっていきます。

環境

美しい公園のあるまち、そして、ごみやハエのいない住みよいまちをつくりあげるため、環境の整備を推進します。

公園の整備としては、本年度は長根山に運動公園をつくるためその設計と測量を委託します。

また、墓地公園をつくるためにも、その設計を委託し美しい環境づくりに第一歩をふみだします。

その他、伝染病の予防や各種の予防接種等の医薬材料として、477万7千円を投じ、市民の保健衛生面の向上もはかっていきます。

一方、ごみの収集については、6月から収集の方法を民間に委託することができましたので、これによってごみの収集も全市内に行きわたることになり、ごみのない清潔なまちが実現されることになりました。

福祉

みんなで明るい市民生活をおくっていただくため、子どもから老人にいたるまで幅広い福祉行政を推進します。

児童福祉の向上をはかるため、今年度は児童会館を建設するとともに、市内の17カ所に季節保育所を開設することになりました。

商工

黒鉱開発にともなって、本市の産業、造も大きく発展しようとしています。この情勢に対処するため、大館市を中心とした総合都市計画の設計書を作成するため179万9千円を計上しております。

また、中小企業育成のための金融対策として、2,400万円を計上しました。

さらに、明治100年を記念し、黒風山の中腹に大館市の大字を彫りて火を入れる「大文字祭」を行ないます。これは、物故者の慰霊を兼ねて行なうもので、今年のお盆からはじめますが観光もかねた年中行事として毎年続けていきます。

教育

本年度は、学校教育はもちろん、社会教育面にも力点を置いています。

まず、施設の増改築としては城西小、雪尺小、三中の増築、三中の屋体、その他の学校の施設維持補修工事ともあわせて約2,671万円を計上したほか、城南小の2期工事分としては、5,136万5千円を計上し、同校の新築工事に拍車をかけます。

そのほか、小学生の準要保護児童等に対する扶助費として、307万9千円、中学関係の扶助費として428万5千円、教科書や教材備品などの購入費として、小、中あわせて1,549万4千円を計上し学校教育の充実をはかります。

さらに、社会教育関係では、十二所公民館の補強と真中公民館を増築するほか、市立図書館の図書購入に127万6千円、長根山シャントウの改修工事に50万円、市営球場のバックネット裏スタンド工事に50万を投じ市民の期待にそうすることになりました。

農林

農業の基幹となす、土地基盤整備事業として、今年度は下川治地区、岩本、清水川地区の土地改良整備にとりかかります。

その他、高村ほか6地区のトラクター、防除機械などの購入の補助、国土調査法に基づく花矢地区の地積調査も行ないます。また病害虫防除事業として、二井田、片山の耕地整理地区に、本市でははじめての試みであるヘリコプターによる空中散布を実施することになりました。

さらに、農業団体の育成強化の対策として、各種団体に対する助成、寺ノ沢林道の新設などを実施するなど、農林業の近代化に積極的に取り組むことになりました。

あすに向けて

財産の造成事業を推進するため、市有林の造成に712万6千円、財政調整基金に215万3千円を計上しております。

このほか、市庁舎の新築、総合福祉センター、産業会館、労働会館、と球場等の建設を計画し、本年度はこの調査費を計上し、

大都市にふさわしい施設の拡充と住みよい都市づくりに向う構想のもとに、この実現をはかっていきます。